

桶川飛行学校平和祈念館企画展示

「特別操縦見習士官が残した日誌」

とくべつそうじゅうみならいしかん

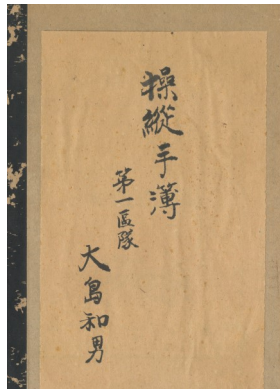
特別操縦見習士官制度は、1943(昭和18)年に創設された制度で、不足する航空兵力を補うために、基礎的な学業を習得している大学生や大学卒業者を対象とし、一期生から四期生までの募集が行われました。

おおしまかずお

今回の展示では特別操縦見習士官の三期生となった大島和男氏が記述した日誌をもとに、桶川分教場での訓練内容や生活の様子について、当時の資料とともに紹介します。



大島和男氏



大島氏が記した操縦手簿



岩手から桶川へ出発直前の写真

展示期間 令和6年8月3日(土)から
令和6年10月14日(月・祝)まで
※月曜日(祝日を除く)・8月13日(火)・9月17日(火)

9月24日(火)は休館となります。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 無料



桶川飛行学校平和祈念館

〒363-0027

埼玉県桶川市大字川田谷2335番地の16

電話：048-778-8512

Mail：hikogakko@city.okegawa.lg.jp

○電車でお越しの場合

JR高崎線桶川駅西口より東武バス「川越駅行き」乗車→
「柏原」バス停下車 徒歩5分

○車でお越しの場合：桶川北本ICより車で10分
県道12号線太郎右衛門橋の側道へ入る。

I. 特別操縦見習士官 大島和男

特別操縦見習士官は不足する航空戦力を補うべく、大学生や大学を卒業した者を対象に、短期間での航空兵養成を目的に創設された制度であり、多くの大学生が応募しました。

大島和男氏もその中の1人であり、1944（昭和19）年6月に特別操縦見習士官の三期生となり、同年12月から翌年1月末まで桶川分教場にて飛行兵としての技術と知識の習得に励みました。



大島和男氏

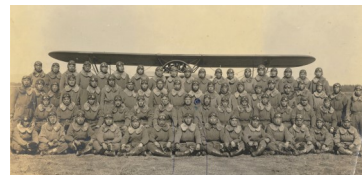


大学生の頃の様子

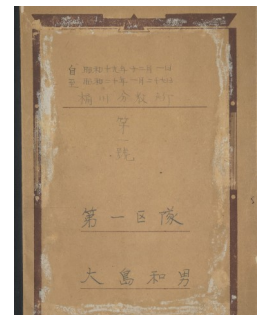
II. 桶川分教場での飛行訓練

桶川分教場は当時基本操縦を学ぶための学校でした。分教場では少年飛行兵や召集下士官等、様々な生徒を受け入れていましたが、短期間での航空兵養成を目的とした特別操縦見習士官の訓練は、どれも大変な困難をとまなうものした。

当時の大場氏の日誌の記述をもとに、桶川分教場で行われていた飛行訓練の内容について紹介するほか、生活の様子や当時の生徒の思いについて紹介します。



基本教育終了記念写真



大島氏の日誌

III. 戦争体験者の想い

今年は終戦から79年を迎えます。当時の桶川分教場のことを語ってくださる方たちは年々少なくなってきました。このため、桶川飛行学校平和祈念館では当時の様子を知り、また語ってくださる方たちの所在調査を含め、戦争体験者の証言を記録として残す作業を順次進めています。



制作した映像資料

関連企画

○職員による企画展示の解説

開催日：8月10日（土）、8月17日（土）、8月24日（土）、8月31日（土）9月8日（日）、9月15日（日）、9月22日（日）、9月29日（日）、10月5日（土）、10月12日（土）

時 間：午後2時30分より（所要時間：約30分）

定 員：各回20名（先着順）

費 用：無料

申込み：開催日前日の午後5時までに電話、メールまたは直接桶川飛行学校平和祈念館窓口にて申し込み。